



月刊 さいとう健

9月号

平成24年8月22日発行



「竹島、尖閣、 北方領土」

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。

大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。

零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。

日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に外向)などに携わる。

平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。

平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。

現在、党政務調査会会長補佐・シヤドウキャビネット(影の内閣)の総理補佐官として活動中。

〔趣味〕 読書、カラオケ、ハンドボール

〔好きな食べ物〕 ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)

〒270-0137 流山市市野谷665-40-103

TEL: 04-7157-6223 FAX: 04-7157-6224

E-mail : info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所

〒100-8981

千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室

TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221

日本近海、波高し。

さいとう健は、日米自動車交渉という大変厳しい交渉に参画するなど、国際交渉の経験がありますが、その目で今回の一連の出来事を眺めてみたいと思います。

まず、なぜ今こうなったのか?

大きく二つの背景があると思います。

一つは、海外から見ると、日米関係がもろくなっている今こそ、領土問題で既成事実を作るチャンスだということです。

現政権になってから、まず、アメリカが望んでいた、インド洋での給油・給水活動から日本はあっさり撤退しました。

普天間基地問題では、迷走を繰り返し、行き場がなくなってしまいました。挙句の果ては、アメリカ大統領に対して、我が国首相が「トラスト・ミー」とまで言って、オバマ大統領の顔に泥を塗るだけでなく、日本の首相の言葉を限りなく薄っぺらいものにしてしまいました。

さらには、その張本人が、アメリカはじめ友好国が制裁をしているイランを訪問する。

こういった一連の現政権の立居振舞を、アメリカから見れば、一言で、「ふざけるな」といったところだと思います。決して口には出しませんが。

加えて、現政権の顔ぶれをみると、アメリカ政府とパイプがあると思われる人間はほとんどいません。いわば、現政権は外交素人集団です。

こういう日米関係を、近隣諸国から見れば、今こそ既成事実を作り上げるチャンスだということになるのは、いわば、当然のことです。

二つ目は、そういう背景の中で、野田総理が「近いうち」の解散を明言すれば、近隣諸国が、さらに、今のうちにといい気持ちになるのも当然です。解散の結果、自民党政権に戻れば、日米関係も強化されるし、領土問題もやりにくくなるわけですから。

では、どうしたらいいか?

目の覚めるような解決策はありませんが、まず第一は、二国間ではなかなか解決できない問題なので、国際世論に働きかけて日本の立場を有利に持っていくということが大事です。そういう意味では、竹島問題を、国際司法裁判所に持ち込むとしたのは、適切な判断だったと思います。

ただ、それだけではなくて、これから、APECをはじめとして、様々な国際会議があると思いますが、そのたびごとに、日本の主張を第三国に説明するということが大事です。直接肩を持ってくれる国は少ないでしょうが、相手国が動きにくくなるという効果があります。ふとこ深い、広い意味での外交です。

この手の動きは、外務省は嫌がるでしょうが、そこは政治主導でやるということです。

(裏面につづく)

二つ目は、議員や国会、民間団体が厳しく対応することです。相手は、日本の反応を見ているわけですから、ゆるい対応はさらなるアクションを招くだけです。政府が前面に立ってケンカをするというわけにはいかない場合、国会が厳しく決議するとか、民間団体が激しく反応するとか、そういったことが極めて大事です。私も微力ながら努力します。

そして三つ目は、政府間で交渉する場合に、次にこういうアクションが行われた場合には日本はこうすると、事前に相手国に通告をしておくことです。たとえば、もう一回尖閣に上陸するようなことがあれば、今度は国内法に基づいて起訴せざるを得なくなる、ということも事前に言うておく。今の政権に、できているのだろうか。

最後に一言だけ申し上げたいのは、こういう事態を招いたのは、そもそも自民党時代ではないかと、よく言われますが、こういう議論は本当によくない。自民党時代にも確かに存在した問題ではありますが、何とかそれでもマネージしてきたわけで、この3年間に起こったこととは比べものになりません。

自民党時代の対応が満点でなかったからと言って、10点と50点を一緒にしてダメだと言うのでは、ものごとの前進はありません。

ぜひ冷静に違いを認識し、その上で、建設的な議論を積み上げて行って欲しいと思います。

〈さいとう健の写真活動報告〉



東葛柔道大会にて選手に激励の挨拶。オリンピックで日本中に感動を与える選手に育って欲しいです。



松戸市内にて医療現場の最前線を担う医師・看護師を激励。患者本位の医療体制が望まれます。



消防団の夏季特別訓練を視察。日夜訓練に励む団員の皆様に、日頃の安心・安全を感謝します。



江戸川での燈籠流しに参加。東日本大震災で亡くなられた御霊へ、鎮魂の祈りを捧げました。

メルマガ **さいとう健**

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

やっぱり、**この男に!**